

# 平成30年度 四国森林管理局嶺北森林管理署の重点施策

～ 地域の林業成長産業化に向けた取組 ～

平成30年4月

嶺北森林管理署

# 四国森林管理局嶺北森林管理署の主な取組

高知県の森林率84%(全国1位)嶺北地域の森林率89%



管内国有林面積: 28,000ha  
関係市町村: 14(9)市町村



国の施設で初のCLTによる庁舎イメージ(H31.2月完成予定)

## 国有林材の安定供給

- 請負生産事業: 7箇所 16,000m<sup>3</sup>
- 複数年契約の実施
  - ・H28~H30の3カ年 85ha 7,800m<sup>3</sup>
  - ・H29~H30の2カ年 42ha 3,800m<sup>3</sup>
- 主伐・再造林: 64ha 26,500m<sup>3</sup>(立木材積)



## コスト削減の取組

- 生産事業と造林の一括発注
    - 【いの町(H28)、土佐町(H29・H30)、南国市(H30)】
  - 立木販売と造林の混合契約発注【南国市(H29・H30)】
  - コンテナ苗の普及【大豊町、本山町、土佐町】
- 平成29年度に植栽した現地(混合契約)において、市町村及び林業関係者による現地検討会を実施予定。



## 民有林との連携

- 高知県と森林共同施業団地の協定締結(H27)【大豊町】
- 森林組合と森林共同施業団地の協定締結(H28)【土佐町】
- 公益的機能維持増進協定の締結(H28)【いの町】
- 高知県嶺北原木安定供給体制構築業務にオブザーバーとして参加、林業による地方創生を支援。【大豊町・本山町・土佐町・大川村・いの町】
- 嶺北地域4町村とのドローンによる災害時活動支援協定(H29.5)

## シカ食害対策の取組

- 罠いわな等による捕獲(職員実行)
- 民間企業(社有林)と国有林が連携した捕獲事業の協定を締結【いの町】
- 地元猟友会と連携した捕獲の試験的実施(H27)【いの町】
- 無人航空機を使った鳥獣捕獲情報の通報・確認システムの実証実験【高知県工業技術センター】



## 治山事業の推進

南小川地区民有林直轄地すべり防止事業【大豊町】による地すべり防止対策工事を実施(写真は四国森林管理局初のNATM工法による排水トンネル工)





# 管内の見どころ



西黒森山の紅葉  
(1858m)

石鎚山系森林生態系保護地域



手箱山  
(1806m)

大挽割・小挽割



国の天然記念物

長さ80m～100m、深さ20m～30mの2本の大きな亀裂が平行して東西に走り、成因は有史以前の大地震によって出来たという説がある。



「四国の水瓶」早明浦ダム



工石山(日本第1号の自然休養林)の屏風岩

平成29年4月「日本美しの森 お薦め国有林」に選定。



白髪山の天然ヒノキ白骨林

平成29年5月、林業遺産に認定。



白髪山(八反奈路)の根下がりヒノキ(県の天然記念物)



# ○ 主要な取り組み

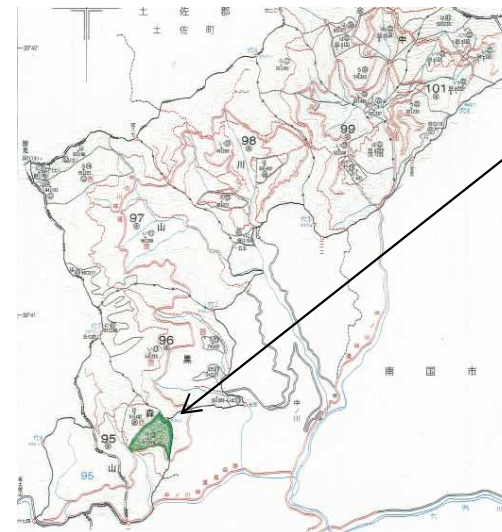
## 1 主伐・再造林にかかると一貫作業(混合契約)

- 嶺北地域では造林手の不足が深刻化してきており、主伐を行ってもその後の植付等造林作業が難しい現状。
- このようなことから、主伐と造林をセットにした一貫作業を行うことにより、造林単独による未実施箇所を無くし、同時にトータルコストの削減を推進。
- また、植栽にはコンテナ苗を使用することにより、植付時期が自由に行えることから、よりコストの削減が可能。

### ■ 一貫作業システムと従来システム



### ■ 主伐・再造林の一貫作業導入地区(混合契約)



一貫作業・黒森山(南国市)

### ■ コンテナ苗



### <一貫作業システムのポイント>

- ・伐採後、高性能林業機械(プロセッサ、グラップル等)を活用し、集材作業中に枝条等の除去を実施。
- ・フォワーダや架線の帰り荷を活用し苗木を運搬。時期を選ばず植栽が可能なコンテナ苗を活用し、伐採後時間をおかずに植付を完了。
- ・一貫作業により機械の搬送費や間接費の削減も可能。

### ■ 嶺北森林管理署 コンテナ苗導入本数

(千本)

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
全苗木本数	3.45	23.1	23.2	16.7	4.9	2.4
コンテナ苗	3.45	23.1	23.2	16.7	4.9	2.4
(%)	(100%)		(100%)	(100%)	(100%)	(100%)

※コンテナ苗はスギ・ヒノキ。H30年度からH32年度は需要見通しであり、事業の進捗状況等による変動があり得る。

## 2 早生樹センダンの試験植栽による低コスト林業の実証

- センダンは、成長が早く約20～30年で短期収穫が期待される早生樹であり、下刈り省力化、萌芽更新等によるコストの低減や短伐期による早期の投資回収が期待される。
- 嶺北森林管理署では、このセンダンを郷茶山国有林52林班(標高約600m)に平成29年度0.3haに300本試験的に植栽しており、現状では、植栽時と比較して、根元径で244%、樹高で281%となっており成長は非常に早い。
- なお、試験地は県道沿いで大豊インターより車で40分程度で行けるところに設定している。

### ■ センダンの試験地(郷茶山)



### ■ センダンの成長特性調査の結果

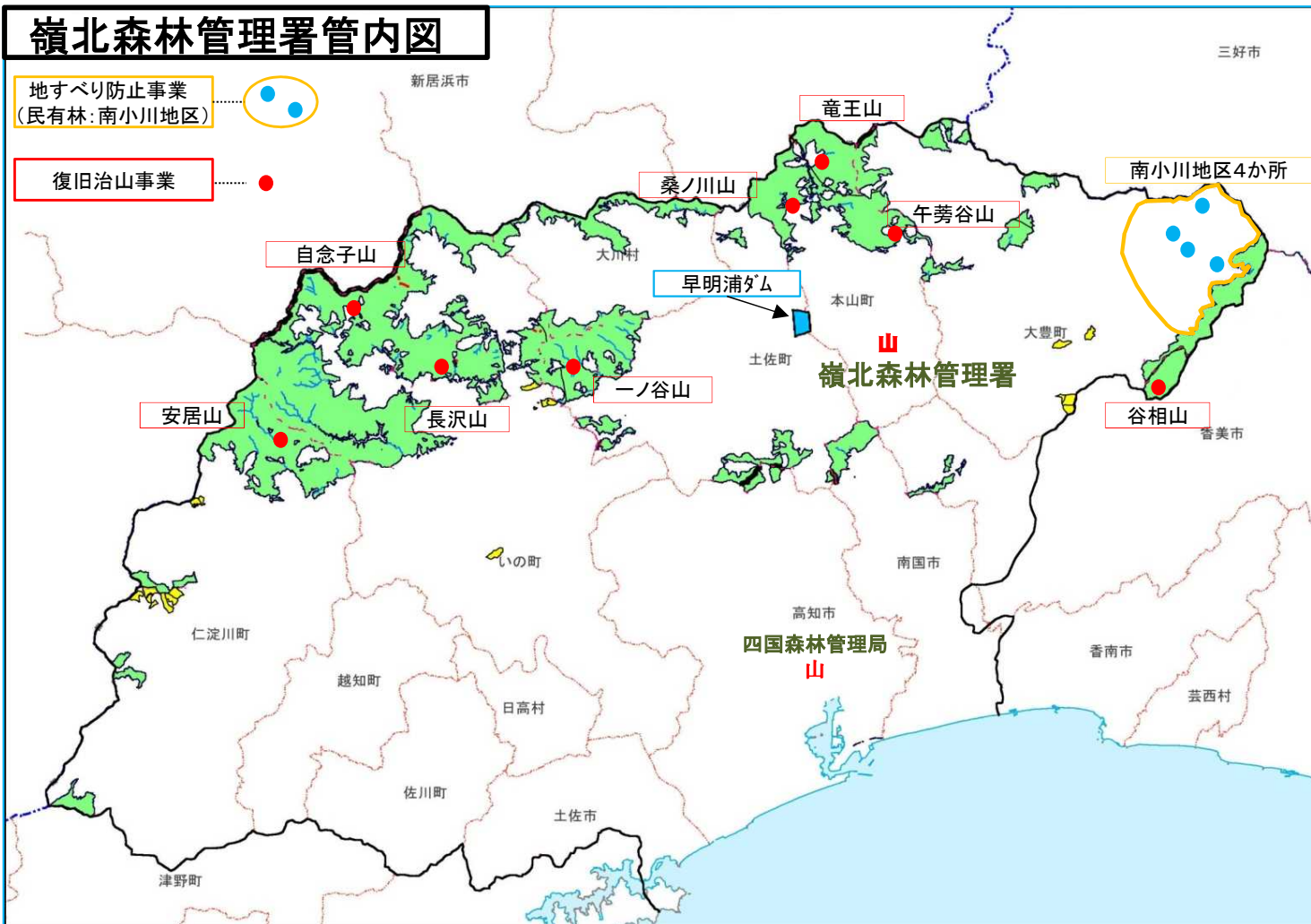
平均成長量		
	根元径	樹高
H29.6.22 (植栽時)	3.15mm	19 cm
	↓	↓
H29.12.18	7.68mm	53.4cm
(約6ヶ月後)		
成長率	244%	281%



### 3 災害等から地域の安心・安全を守る治山対策の強化

- 豪雨、台風等で被害を受けた山地災害復旧のため復旧治山事業及び地すべり防止事業を実施
- ドローン等を活用し、台風等による災害発生直後に上空から被災状況の早期把握を行い、迅速な復旧対策を推進するとともに、民有林を含めた大規模な災害が発生した場合は、地元市町村等への情報提供と災害復旧にかかる提案・支援等を実施

平成30年度 嶺北署管内の復旧治山事業・地すべり防止事業の実施予定地区



復旧治山事業



(溪間工と山腹工)

地すべり防止事業



(アンカー工)

## 4 CLTにより新庁舎の建設

- 高知県では新たな木材構造として、CLTによる公共建築物が進められている。このような中で、国の施設としては初となるCLTパネルを本格活用した庁舎整備として嶺北森林管理署の新庁舎を整備します。H30年度末完成予定。

### ■ 完成予定庁舎



本事業は新たな木材需要の創出が期待されるCLTの活用促進を目的とし、国の庁舎整備で初めて本格的にCLTパネル工法を採用しました。

床、壁、屋根の構造材としてCLTパネルを使用し、南側外壁はガラスのカーテンウォール越しにCLTが見えるようにしました。また、軒裏、内壁の一部についてもCLTをそのまま見せることで、活用状況を分かりやすくするとともに、木材のもつ温かみと落ち着きを創出しています。

また、CO2削減や森林資源活用を目的にペレットストーブの設置スペースを設けたほか、既存庁舎の庁名板や紅廉石を再利用するなど環境負荷の減にも配慮した設計となっています。